



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社ゼネテック

上場取引所 東

コード番号 4492 URL <https://www.genetec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 憲二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 吉田 順一

TEL 03(6683)3244

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 後日開示予定

四半期決算説明会開催の有無 : 有 後日配信のみ

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,954		36		36		23	
2020年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 24百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.84	12.46
2020年3月期第2四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,534	1,673	66.0
2020年3月期	2,691	1,637	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,673百万円 2020年3月期 1,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				3.50	3.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,590	2.8	100	70.1	110	66.4	70	67.0	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,920,000 株	2020年3月期	1,920,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	76,079 株	2020年3月期	114,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,820,381 株	2020年3月期2Q	株

2019年12月27日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。このため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した株式数を記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による休業要請や外出自粛要請が緩和されるなど、経済活動停滞からの回復の兆候が見られているものの、収束の見通しはいまだ立っておらず、引き続き状況を注視することが必要な状況となっております。

このような状況下、当社はシステム受託開発事業においてはテレワークによる三密を回避した開発業務に引き続き取り組んでおり、開発中断に追い込まれていた案件が徐々に再開するなど明るい兆しも見えてきました。しかしながら、製造業各社の開発投資削減を受けて開発の先送りや延期となった案件もあり、予断を許さない状況は続いております。

エンジニアリングソリューション事業においては、4月から始まった政府の外出自粛要請により展示会の中止や地方を跨いだ訪問活動の自粛などの影響はありましたが、現在は従来の営業活動に加え、Web会議システムを用いた商談や当社製品サイトにおけるサポート情報の公開、またオンラインによるセミナーの開催や展示会への出展など、ウィズコロナを見据えた営業活動を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,954百万円、営業利益は36百万円、経常利益は36百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円となりました。

各セグメント別の状況は以下の通りであります。

(システム受託開発事業)

当セグメントにおいては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開発中断が発生していましたが、当第2四半期においては開発再開が本格化いたしました。デジタル情報家電分野においてはテレワークでの開発が定着したため、開発案件は中止することなく推移しております。また、半導体製造装置分野においては半導体需要に対する新型コロナウイルス感染症の影響が限定的でありましたため、第1四半期に引き続き好調に推移しております。しかしながら、オートモーティブ関連分野においては第1四半期に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の自動車業界に対する影響を受け、開発案件の一部見直しや延期が発生しております。この結果、当セグメントの売上高は1,271百万円となりました。また、不要不急の経費を削減しました結果、セグメント利益185百万円となりました。

(エンジニアリングソリューション事業)

当セグメントにおいては、外出自粛要請の解除を受け、段階的に訪問活動を再開するなど、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しております。しかしながら、主に地方拠点においては他地方への訪問活動を引き続き自粛せざるを得ない状況が続いておりますため、従来の営業活動に戻るまでには相当の時間を要するものと見込んでおります。また当社では営業やユーザートレーニングにおいてWeb会議システムを積極的に活用しており、顧客との円滑な関係性の維持に努めております。

主力商材である「Mastercam」は製造業の生産活動が十分に回復していないため設備投資の抑制が続いており、その影響により新規ライセンスの導入検討が一部先送りとなっております。しかしながら、工場・物流・マテハン3Dシミュレーションシステム「FlexSim」については7月に専用製品サイトの立ち上げ以降問い合わせと引き合いを多くいただいております。8月下旬には新型コロナウイルス感染症対策のため「FlexSim」のソーシャルディスタンスをシミュレーションする新機能「エージェント (Agent)」をリリースするなど、当社はウィズコロナを見据えた事業活動の取り組みを強化しております。これにより、当セグメントの売上高562百万円となりました。また、営業活動の見直しにより経費削減に努めました結果、セグメント利益は113百万円となりました。

(その他事業)

スマートフォン用防災アプリケーション「ココダヨ」については、アクティブユーザー数の好調な増加を受け、プロモーションを強化いたしました。8月からは開発者を増員し見守り機能充実を見据えた新規サービス開発に関する取組み等を開始しております。その結果、スマートフォンアプリ定額利用サービスからの収益が想定を上回り推移し、売上高125百万円、セグメント利益30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産は2,094百万円となり、前連結会計年度末に比べて135百万円減少いたしました。これは主に、前連結会計年度末に増加した売掛金の回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少385百万円と現金及び預金の増加264百万円によるものであります。固定資産は440百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のうち、繰延税金資産が8百万円の減少、有形固定資産が7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,534百万円となり、前連結会計年度末に比べて156百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債は511百万円となり、前連結会計年度末に比べて189百万円減少いたしました。賞与引当金が32百万円、買掛金が68百万円、未払金が37百万円、未払法人税等が44百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は349百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は861百万円となり、前連結会計年度末に比べて192百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産合計は1,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主に当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,123,065	1,387,933
受取手形及び売掛金	874,063	488,237
電子記録債権	95,838	51,238
商品	3,985	6,477
仕掛品	55,880	67,000
原材料及び貯蔵品	18,976	19,435
未収入金	22,537	27,640
その他	35,981	46,779
流動資産合計	2,230,330	2,094,743
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	60,892	54,116
工具、器具及び備品 (純額)	14,646	14,097
有形固定資産合計	75,538	68,214
無形固定資産		
無形固定資産	9,081	7,822
投資その他の資産		
投資有価証券	18,614	20,619
敷金及び保証金	123,350	120,847
繰延税金資産	174,585	166,405
その他	60,893	57,185
貸倒引当金	△890	△890
投資その他の資産合計	376,553	364,168
固定資産合計	461,173	440,204
資産合計	2,691,504	2,534,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,649	172,191
短期借入金	40,243	36,310
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払金	92,277	54,580
未払法人税等	48,357	3,955
賞与引当金	167,722	134,888
受注損失引当金	—	4,834
その他	61,422	54,815
流動負債合計	700,672	511,575
固定負債		
社債	75,000	50,000
退職給付に係る負債	278,519	299,685
固定負債合計	353,519	349,685
負債合計	1,054,191	861,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	456,917	471,334
利益剰余金	1,143,950	1,160,998
自己株式	△11,345	△7,660
株主資本合計	1,639,522	1,674,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,210	△984
その他の包括利益累計額合計	△2,210	△984
純資産合計	1,637,312	1,673,687
負債純資産合計	2,691,504	2,534,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,954,821
売上原価	1,270,704
売上総利益	684,117
販売費及び一般管理費	647,905
営業利益	36,212
営業外収益	
受取利息	82
受取配当金	130
為替差益	618
雑収入	318
その他	316
営業外収益合計	1,466
営業外費用	
支払利息	448
支払手数料	525
その他	160
営業外費用合計	1,134
経常利益	36,544
税金等調整前四半期純利益	36,544
法人税、住民税及び事業税	5,644
法人税等調整額	7,531
法人税等合計	13,175
四半期純利益	23,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,368

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	23,368
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,225
その他の包括利益合計	1,225
四半期包括利益	24,594
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	24,594

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日
至 2020年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	36,544
減価償却費	11,189
受取利息及び受取配当金	△212
支払利息	448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,834
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,166
売上債権の増減額 (△は増加)	430,425
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,458
未収入金の増減額 (△は増加)	△5,102
前払費用の増減額 (△は増加)	△11,872
未払金の増減額 (△は減少)	△37,697
預り金の増減額 (△は減少)	260
その他	5,236
小計	335,023
利息及び配当金の受取額	212
利息の支払額	△466
法人税等の支払額	△50,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△15,000
有形固定資産の取得による支出	△1,845
無形固定資産の取得による支出	△761
投資有価証券の取得による支出	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (△は減少)	△3,933
社債の償還による支出	△25,000
配当金の支払額	△6,288
自己株式の処分による収入	18,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	249,867
現金及び現金同等物の期首残高	867,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,116,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	システム受託開 発事業	エンジニアリン グソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,266,660	562,714	1,829,374	125,446	1,954,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,877	278	5,155	—	5,155
計	1,271,538	562,992	1,834,530	125,446	1,959,977
セグメント利益	185,573	113,575	299,148	30,306	329,455

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、災害発生時位置情報通知システム「ココダヨ」に係る研究開発を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	299,148
「その他」の区分の利益	30,306
セグメント間取引消去	△665
全社費用(注)	△292,577
四半期連結損益計算書の営業利益	36,212

(注) 全社費用は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。